

X サンプル切断例__CS203

ダイヤモンドワイヤー切断機CS-203は、約37メートルの固定砥粒式ダイヤモンドワイヤー本体にあるキャプスタンに巻き付け、そのワイヤーの往復にて切断を行います。ダイヤモンド砥粒が付けられたワイヤーを押し付けて試料を切削して切断するイメージです。試料に大きな負荷をかけないため、試料へのダメージが少ないためチッピングなどが起き難く、割れやすい試料や微細な試料にも適しており、研磨工程の軽減ができる利点があります。

結晶、金属、セラミクス、樹脂、複合材など多くの試料の切断実績がございます。現在では、開発品・研究対象の分析用試料作製の前処理装置として、研究機関や、民間の分析・検査部門に多くご利用いただいております。

以下は、CS-203でのサンプル切断の例です。なお、試料の材質、サイズ、切断条件（湿式・乾式、線速、荷重、固定状態など）によりまして切断結果は変動いたしますので、切断結果を保証するものではありません。

装置： CS-203
ダイヤモンドワイヤー： 17GNPU（切り代込み：約250 μ m）
コア線：175 μ m、砥粒サイズ：22~36 μ m
切断方式： 湿式切断

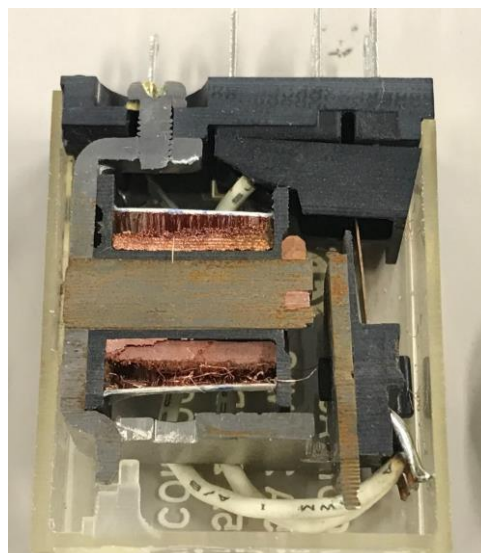
・電子デバイス A

寸法： 約9mm x 約19mm
線速： 50%（標準）
荷重： 80g（標準）
試料固定： 熱ワックス



・電子デバイス B

寸法： 約27mm x 約35mm
線速： 50%（標準）
荷重： 80g（標準）
試料固定： 熱ワックス



・包埋樹脂（テクノビット 4002IQ）

寸法： $\phi 25\text{mm}$

線速： 50%（標準）

荷重： 160 g

試料固定： バイス治具



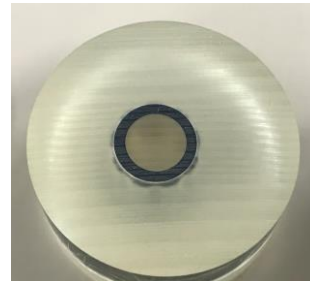
包埋樹脂（テクノビット EPOX）

寸法： $\phi 30\text{mm}$

線速： 50%（標準）

荷重： 160 g

試料固定： バイス治具



・アルミ材

寸法： 18mm x 21mm

線速： 60%

荷重： 240 g（最大荷重）

試料固定： バイス治具

